

主題研究 ①

令和6年4月11日(木)

今年度の主題研究について

<研究テーマ>

昨年度は『すべての生徒が「分かる・できる」と実感できる授業の構築～学力向上をめざした ICT の効果的な活用を通して～』という研究主題のもと、前年度に引き続き、タブレット端末の効果的な活用方法を模索、ICT を活用した授業を積極的に行うという取組を行ってきた。また、全国学力調査の問題の分析や校内の教育の DX の推進など、授業以外での研究も行った。その結果として、より ICT を活用した授業が多く行われ、生徒・職員 ICT 活用力の向上が図られるとともに、情報伝達やアンケートの実施・集計など、教師の業務の時間短縮につながり、教材研究や生徒と向き合う時間の確保ができた。

しかし、反省として挙げられたものの中には、教員間でスキルに差がある、授業での ICT 活用についてさらに模索していく必要があるなど、例年、類似した課題が多く見られる。一方で、本校の課題として、生徒自身が自らのキャリアを考えたり、その実現に向けて学習したり、主体的に行動したりといった、具体的な課題が挙げられる。

そこで、今年度は、個人のキャリアデザインに応じた学力の向上や、主体性の育成を、教科学習・家庭学習・進路学習を通してできないかと考え、以下のような研究主題を提案する。

研究主題

主体的にキャリアデザインを考え、行動できる生徒の育成
～教科学習・家庭学習・進路学習の一体化を通して～

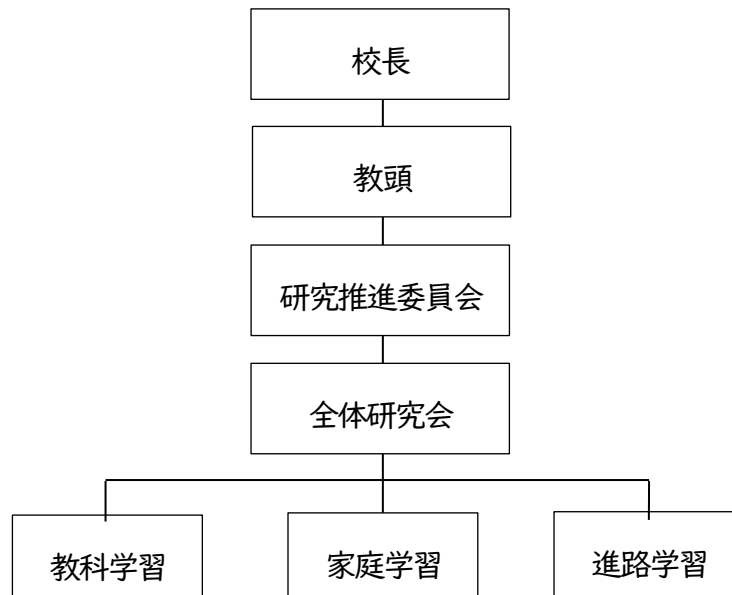
1 昨年度から継続したい内容

- (1) 1人1回の研究授業
- (2) 7月、12月の授業アンケート
- (3) 県教委から提示されている「授業改善の4つのポイント」に基づいた、授業改善の視点の作成
- (4) 授業づくりチェックシート

2 今年度の取組

- (1) 昨年度からの継続内容について、内容を精選して実施
- (2) 各教科、各学年における家庭学習の在り方の検討
- (3) 進路指導主事と連携した、キャリア教育の実施
- (4) 生徒の実態把握
進路希望調査や授業アンケートを実施し、成績分析等を実施
- (5) 家庭と連携したキャリア教育

3 研究組織図(案)



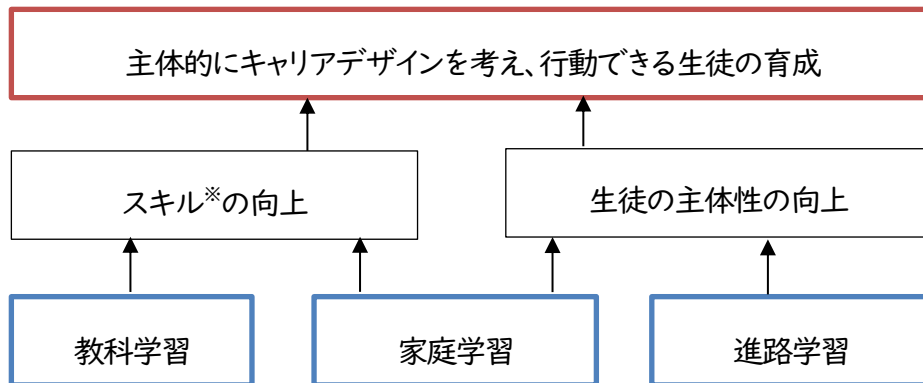
4 研究の評価について

- (1) 7月、12月に行う授業アンケート結果
- (2) 定期テストの成績分析→方法の検討が必要
- (3) 各教科・各学年における家庭学習取組状況
→夏休みの三者面談の活用や保護者へのアンケート等を年3回実施して、保護者からの評価をもらう。
- (4) 3年生の志望校ごとの成績分析(実力テスト・定期テスト) *参考資料

令和5年度卒業生進学先ごとの成績分析結果

Sドライブ → R6年度BOX → 主題研 → 4.11 主題研

5 研究のイメージ



※スキル…学習指導要領に記載されている「生きる力」を育む資質・能力の3つの柱
「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」

6 今年度の研究班について

班	教科学習	家庭学習	進路学習
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルの向上のための授業改善 ・定期テストの内容の検討 ・定期テストの結果の分析 ・授業アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の出し方 ・長期休業中の取組 ・家庭と連携した指導 ・保護者アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の充実 ・3年生の成績分析 ・進路希望調査
班長	濱川美帆	柿木龍馬	柴立香織

こちらからアンケートへの回答をお願いします。→

